

イチ
おおいた市推しショット!!

表紙の写真は、平和市民公園の裏川沿いに今年初めて設置されたこいのぼり

こちらのこいのぼり・・・実は、ご家庭で不要になったものを集めたんです!

設置したのは、津留地区まちづくり協議会、公民館等地域の皆さんで、こいのぼりが均等に、色とりどりにみえるよう工夫しながら力を合わせていました

たくさんのおいのぼりが空を泳ぐ姿は壮観!

地域を盛り上げる毎年の風物詩になりそうですね

大分市公式SNSでは、イベント情報やまちの風景など大分市の魅力を発信中。市報表紙のオフショットを掲載することもぜひご覧ください



市公式 SNS



市公式 SNS はこちら▲

わが家のおかず!

おおいた香り野菜レシピ

大葉ハンバーグ ~柚子胡椒仕立て~



大葉

大葉は、「青じそ」とも呼ばれる日本のハーブで、独特の香り成分には、強い抗菌・防腐作用があり、また消化酵素の分泌を促し、食欲を増進させると言われているほか、β-カロテンやカルシウムが豊富*に含まれています。

※参考：日本食品標準成分表2020年度版

●材料(4人分)

豚ひき肉	400g	★調味料	
白ネギ	2本	みそ	大さじ2
大葉	20枚	酒	大さじ2
		片栗粉	大さじ2
		しょうゆ	小さじ2
		ゆずごしょう	小さじ2

●作り方

- ① 白ネギの白い部分をみじん切りにします。
- ② ボウルに豚ひき肉と①と★を入れて軽く混ぜ合わせます。
- ③ ②に大葉をちぎって入れ、粘り気が出るまで混ぜます。
- ④ 中の空気を抜きつつハンバーグの形に整え、中火のフライパンで焼きます。
- ⑤ 焼き目がついたらひっくり返し、お湯を入れて4分間蒸し焼きにして完成です。

レシピ提供者：JAおおいた大分市大葉部会 料理アドバイザー(料理研究家) 坂本 薫氏

農政課 ☎537-7025

市民図書館からのお知らせ

本のお医者さん

～本のなおしかた、教えます～

自宅に修理したい本がある、中学生以上の一般市民を対象に、本の修理方法を学ぶ講座を開催します。

日時：6月4日(土) 午前10時～正午

場所：市民図書館2階 会議室

定員：10人(要事前申込み)

申込み：直接または電話で、5月15日(日)から市民図書館へ。



市民図書館 ☎576-8241

このコーナーでは、市民図書館が所蔵している新刊を紹介합니다。



こいのぼりパーティー ぐんぐんすくすく
すとあさえ：文 山田花菜：絵 川島雅子：レシピ提供
ほるぷ出版

料理好きの本屋のままこさんは、こどもの日にあつくんとかよちゃんとこいのぼりパーティーをすることに。3人はかしわ餅やこいのぼりフルーツパイなどを楽しみながら料理していきます。子どもの成長を願いながら、家族一緒に料理をしてみませんか。

お一人さま逃亡温泉

加藤亜由子：著
みらいパブリッシング

春からの新生活や環境の変化、新しい人間関係で気疲れした体に、のんびりお一人さま温泉はいかがでしょう。「名湯こそ、心身を浄化してくれる」をモットーに、日本各地の温泉が紹介されています。温泉で心身ともにリフレッシュしませんか。



人権・同和教育シリーズ 521

性別って関係あるの？



人の生き方を考える

娘は、中学校で初めて野球部に入りました。娘が野球をしたと言いだしたとき、わたしは娘が心配で「え、女の子で野球部？」と言いました。しかし、娘はどうしても入りたいと言いつて聞かず、その後同じように声を掛けるたび、娘はムツとして不機嫌になりました。

ある日、娘が練習中に顔にできた擦り傷の手当てをしていました。わたしは「女の子なのにそんな傷をつくて。やっぱ野球は無理よ」と言うと、娘はわたしをにらんで「何が無理なの？知らないくせにそんなこと言わないでよ。うるさいなあ」と言いました。わたしも負けずに「あなたのことを心配して言ってるのよ。女の子なんだから、今からでも他の部活にしたらいいのに」と強く言い返してしまいました。すると、娘はわたしをじっと見て「野球をするのに性別って関係あるのかな。わたしが男だったら、お母さんそんなこと言ってくれないのはうれしいけど。女だからって理由で、自分のしたいことを我慢しなきゃならなかったら、お母さんは耐えられるの？わたしはそんなのおかしいと思う」と言ったのです。娘の言葉を聞いて、わたしは「何も言い返せませんでした。」

後日、練習を見に行くことになり、楽しみにしていた娘が、笑顔で手を振ってくれました。わたしは、これからは娘の一番の応援団長でありたいと思いが、笑顔で手を振り返りました。

本人が選べない性別や生まれ、国籍などを理由に、その人の可能性を奪うことはあってはなりません。相手の思いや願い、その人らしさを尊重することが大切ではないでしょうか。

しをじっと見て「野球をするのに性別って関係あるのかな。わたしが男だったら、お母さんそんなこと言ってくれないのはうれしいけど。女だからって理由で、自分のしたいことを我慢しなきゃならなかったら、お母さんは耐えられるの？わたしはそんなのおかしいと思う」と言ったのです。娘の言葉を聞いて、わたしは「何も言い返せませんでした。」

後日、練習を見に行くことになり、楽しみにしていた娘が、笑顔で手を振ってくれました。わたしは、これからは娘の一番の応援団長でありたいと思いが、笑顔で手を振り返りました。